

新入学児の交通安全

通学路を
実際に歩いてみよう

新入学児をお持ちのお母さんは学校の行き帰りが、とくに心配でしょう。
お子さんを交通事故から守るために、つぎの点には特に気をつけましょう。

通学路を
実際に歩いてみよう

通学時間に合わせ、お母さんがお子さんといっしょに通学路を何回か歩いてみましょう。
そのうえで、信号の見方や正しい



い横断の仕方などについて、具体的に教えるようにしましょう。
また、同じ道でも、曜日や時間によって車の量や人通りなど交通状況が変わることも、あわせて注意しましょう。

余裕をもつて
登校させよう

就寝前に翌日の持ち物を準備させ、当日忘れものなどないようにしましょう。また、時間的にも十分余裕をもって送り出すようにしましょう。
途中で忘れてものに気がついて、あわてて取りに房ったり、遅刻しそうなになって急いだりすることのないようにしましょう。

帰宅時間を
約束させよう

学校が終わったら、寄り道をしないで、まっすぐ帰宅させるようにしましょう。帰宅時間を約束させ、しっかりと守らせることも、交通事故を防止するうえで大切です。

4月6日(日)から15日(火)までの10日間、春の全国交通安全運動が実施されました。
この運動は、本格的な春の交通安全運動が実施されている状況の中にあつて、今後さらに交通事故をより一層防止していくために、すべての人に交通安全思想を普及し正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることを目的としております。
今回の重点目標として
(1)歩行者、特に新入学(園)児を中
心とした子供の事故防止。

春の全国交通安全運動が
実施されました

- (2)自転車の安全利用の促進。
- (3)安全運転管理の充実と安全運転の確保。
があげられており、山梨県独自の重点項目として
- (4)シートベルト着用の推進
が追加されております。
交通事故を防ぐためには、ドライバーに対する指導も大切ですが、歩行者自身が正しい交通ルールと



第十回市民バドミントン大会
盛大に開かれる!

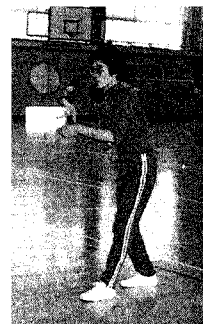
3月23日(日)都留二中体育館にて市民バドミントン大会が開催され、参加者が小学生から一般社会人まで約一二〇人が集まり盛大にまたなごやかに試合が行なわれました。今年度は初心者参加者も多く和気合々の中にも汗を流し一生懸命のプレーと声援が会場を包み一日中スポーツを楽しむ姿があふれていました。
なお、成績はつぎのとおりでした。

◎団体の部

- 一位・バドミントン協会(B)
- 二位・山梨コニカ(株)(B)
- 三位・蛇の目金属(株)(A)

マナーを、身につけることが大切です。

そこで、家庭においても子供やお年寄りに交通安全教育の充実を図るとともに、とくに新入学(園)児については、つぎのようなことを中心に指導してください。
○安全な歩き方
○道路の安全な渡り方
○信号の意味と見方
○踏切の安全な渡り方
○安全な場所と危険な場所
また、お母さんがたは子供さんといっしょに通学路を歩いて、具体的に前記の項目について話し合



・バドミントン協会(A)

- ◎小中学生の部(個人)
一位・園田 仁(都留二中)
二位・清水洋行(都留二中)
- ◎女子シングルス
一位・三枝千代子(協会)
二位・橋本広江(蛇の目)
- ◎男子シングルス(B級)
一位・高部明良(蛇の目)
二位・佐藤 孝(蛇の目)
- ◎男子シングルス(A級)
一位・二本柳幸久(蛇の目)
二位・加藤幸紀(都留文大)

つたり、教えたりしてください。
この運動期間中、都留警察署を中心に交通安全思想の普及と事故防止のために、各施策が強力に推進されましたが、この運動期間中だけでなく、市民一人一人が日頃から、正しい交通ルールとマナーを自ら実践し、明るい交通社会を実現するようご協力をお願いします。